



いざ！  
という時の  
ために

# 地域 みんなで災害への 備えを考えておこう

地震による避難者数の想定

地震	一週間後の避難者数(人)
琵琶湖西岸断層帯地震	249,534
花折断層帯地震	139,894
木津川断層帯地震	42,672
鈴鹿西縁断層帯地震	81,703
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震	74,940

滋賀県被害想定(H26.3)より抜粋

災害時には誰もが避難者になる可能性があります。中でも災害時に特に配慮が必要な「要配慮者」の場合、その方に合った備えや支援が必要です。

地域 みんなが安全に避難するために何ができるか、一緒に考えてみましょう。

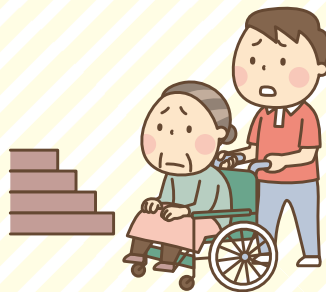
## 要配慮者の支援

### 要配慮者とは？

高齢者や障害のある方、医療などを必要とする在宅療養者、日本語が得意でない外国人、乳幼児、妊産婦など、災害が起きた時に特に配慮を必要とする方のことです。

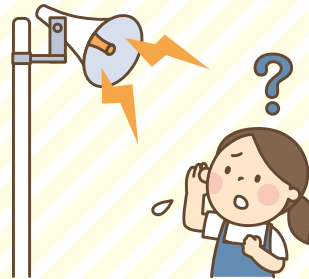
### 災害時、こんな場面に遭遇するかも…

要配慮者の特性は様々です。その方に合った備え・支援を心がけましょう。



#### 移動が難しい

- 地域の人と協力して避難所までの移動を支援しましょう。
- 車いすを押すときは、事前に声をかけましょう。



#### 避難の放送が聞こえない

- お互いの顔が見える位置に立って、口を大きく動かして話すようにしましょう。
- 筆談を使うなど、情報伝達の方法を工夫しましょう。



#### 病気のことが理解されない

- 持病があると分かったら、常用の薬など必要なものが準備されているか声をかけましょう。

#### 避難時の支援

- 車いすが通れる幅の通路を確保しましょう。
- できるだけ段差を解消しましょう。

#### 避難所での支援

- 大切な情報は、放送だけではなく、張り紙などで知らせましょう。

- トイレの使用に関して、オストメイトに配慮しましょう。
- 避難所の管理者などに、必要な医療的ケアや介護について伝えましょう。